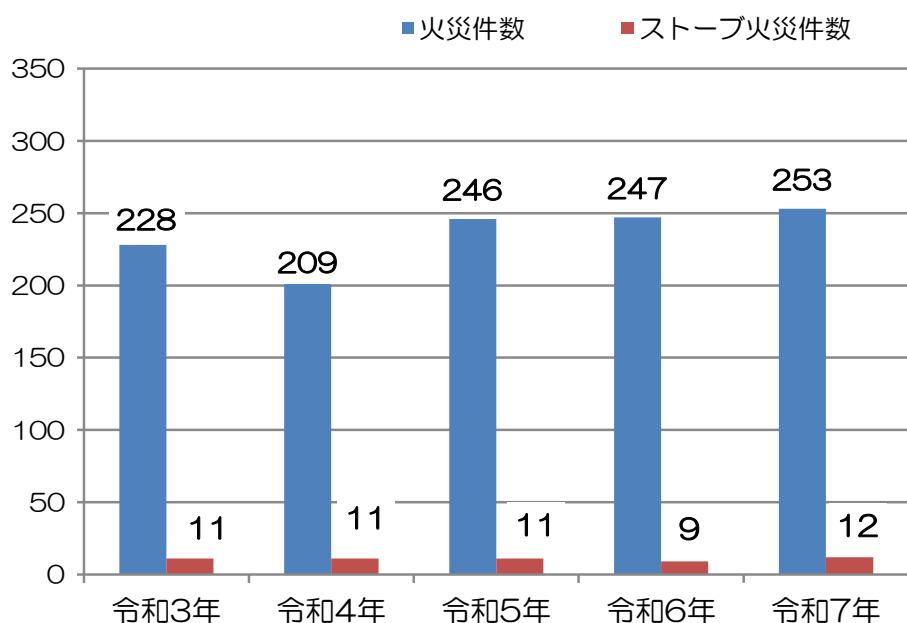


こんな火災をなくそう！（ストーブ火災編）

冬はストーブを使用する機会が多くなります。仙台市内における過去5年間（令和3年～令和7年）の「ストーブ火災」の件数を見てみると、**平均で1年間に約11件発生**しています。ストーブの安全性は年々向上しており、全火災件数に占める割合は多くないものの、**毎年発生しています。**

また、電気ストーブは火を使用しないため火災の危険性がないと思われがちですが、可燃物の近くで使用するなど、使用環境が悪いと火災の原因になってしまいます。**ストーブ火災は、少しの注意で防げるものがほとんどです！**安全に使用し、寒い冬を乗り切りましょう！！

仙台市で発生した過去5年の火災件数及びストーブ火災件数



石油ストーブにより出火した事例



石油ストーブを**点火したまま給油をし**、**キャップが完全に閉まっていなかったため**、**ストーブに灯油がかり**、火災になってしまいました。

防火のポイント！

- ・ 給油時は必ず火を消し、カートリッジタンクは、キャップを確実に締めましょう。
- ・ ガソリン（誤給油）や不良灯油を使用しないようにしましょう。
- ・ ストーブの近くには、衣類や雑誌などの可燃物を置かないようにし、付近に洗濯物を干さないようにしましょう。また、殺虫剤やヘアスプレーなどのスプレー缶を置かないようにしましょう。
- ・ 電源プラグやコードの異常から出火する場合があります。電源プラグやコードを定期的に点検し、異常がある場合はすぐに使用をやめて、販売店に点検してもらいましょう。

電気ストーブにより出火した事例



電気ストーブの近くに干していた洗濯物が**落下して電気ストーブに接触**し、火災になってしまいました。